

みんな大好き！ おさるのジョージがやってくる —世界中の子供たちに愛されてきた絵本原画展

おさるのジョージ展
「ひとまねごさる」からアニメーションまで
2018.10.20[土]—12.24[月]

世 界中の子供たちを夢中にさせた絵本「おさるのジョージ」シリーズの原画がやってきます！

『Curious George』(日本題『ひとまねごさるときいろいぼうし』)は、1941年アメリカで誕生しました。Curiousとは「好奇心旺盛な」という意味で、知りたがり屋のおさるのジョージは子供たちに大人気となり、続編が次々発表されました。

それでは、知らない人のためにちょっと解説。おさるのジョージはアフリカのジャングルで暮らしていましたが、黄色い帽子のおじさんが

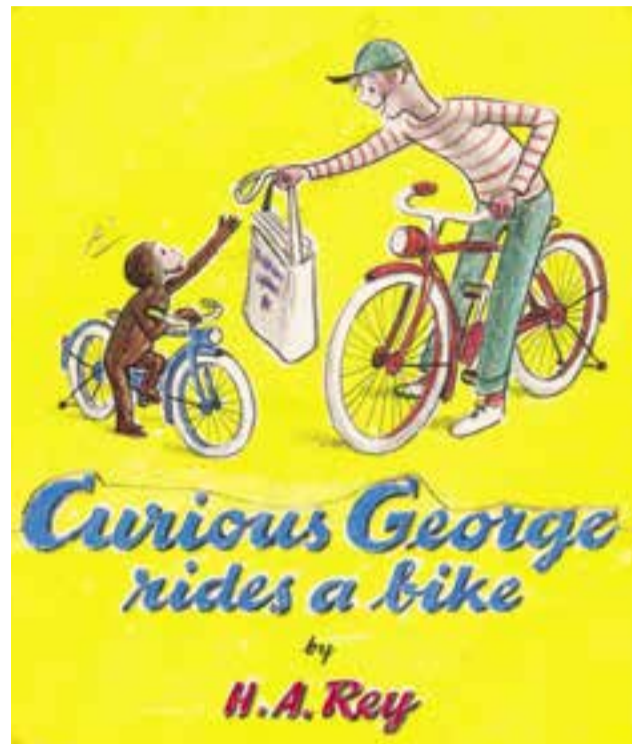
やってきて家に連れ帰ります。ジョージは初めて見る外の世界に興味津々、電話を勝手に使って消防隊を呼んでしまったり、てんやわんやの末に、楽しい動物園ライフを満喫している様子で終わります。ちなみに次作でジョージは、動物園の外を知りたくって鍵を盗んで逃げ出し、レストランの厨房で盛大にスパゲッティを食べ、アパートの部屋をペンキでジャングルに変えてしまい…と、やはり大騒動を繰り広げます。

「これ、なんだろう？」と思うと他の全てを忘れて突進してしまう

ジョージは、あれもこれもやってはダメ！と言われている世界中の子供たちに「こんなことができたらいいなあ」と思わせるヒーローです。作者の H.A. レイ夫妻は、ドイツ生まれのユダヤ人で、ナチスの侵攻を逃れて船でアメリカに渡りました。その時持ち出した『Curious George』の原稿は新天地で発表され、80年を経た今も変わらず人々の心を捉えています。

この展覧会では、日本初公開となる絵本の原画、ラフ・スケッチ、放映中のアニメーションの絵コンテなどを展示します。

「これは、さるの じょーじです。…じょーじは、かわいい おさるさんでしたが、とても しりたがりやでした。…」(『ひとまねごさる』1954年 光吉夏弥 訳 岩波書店)
どこまでも明るいたずらっ子のジョージに、ぜひ会いに来てください！
(副館長 坪井則子)



『じてんしゃにのるひとまねごさる』の表紙ラフ・スケッチ

アニメ「たこたこ、あがれ！」絵コンテ



『ひとまねごさる』の2色原画



『ひとまねごさるときいろいぼうし』のカラー原画



©&®Universal Studios and/or HMH <南シシッピ大学所蔵>

ミュージアムショップ

波佐見焼カラープレート3枚セット
4,212円(税込)



ミニタオル 540円(税込)



クラシックジョージ(S)
2,160円(税込)

正絹京友禅
がま口
2,592円(税込)

ちいさな額縁
マグネット
540円(税込)



クロッキー缶
864円(税込)

※「おさるのジョージ」展覧会中(10/20~12/24)のみの販売です。

©&®Universal Studios and/or HMH